

## 2019 年度実施概要

学校名

上越教育大学附属中学校

採択活動名

持続可能な社会を創造し自己を確立できる生徒の育成 ～海洋・環境教育を通して～

取り組みの概要

持続可能な社会の実現が求められている現在において、一般的な環境問題について追究するだけでなく、自分が住む地域の自然環境の現状やその変遷に関心を持ち、主体的、探究的に学びを進め、科学的な根拠をもって環境保全、さらには地域活性化への方策を提言できる子供の育成は不可欠である。そのためには、地域の自然環境の現状やその変遷に関する情報を収集し、様々な視点で分析・考察する探究的な学習が必要である。そこで、理科の学習において、日本海などの自然環境を素材とした探究活動を取り入れたプログラムを開発し、生徒の郷土愛や自己効力感を高め、持続可能な社会を創造し、進んで地域の活性化に取り組める生徒の育成をねらう。

今年度は、生徒が学んだ過程や成果を外部に発信する活動に重点を置いた。具体的には、例えば、2年生の気象分野（大気の動きや海洋等の影響から長期の天気予報番組を作成し、発信する）、3年生の生物分野（海の環境問題、マイクロプラスチックの流出について考える）などに関わる探究学習を行い、自分たちの考えや未来への提案を他校（北海道札幌市の高校生や愛媛県松山市の中学生等）と遠隔で意見交流を行った。事前に専門家（内容、学び方、プレゼンなど）の講義やトレーニングを受けること、校外の中高生に自分の考えを発信することの2点を通して、より個人の考えやグループで行う意見交換や議論の質が高まり、生徒は新たな疑問や課題を見いだしたり、諸課題への解決策を実践したりすることができるようになった。自分が住む地域の自然環境の現状やその変遷に関心を持ち、主体的、探究的に学びを進める態度を養うために海洋教育の4つのキーワードと関連づけて、地域の自然環境の変遷の歴史や現状、その変遷について情報を収集・分析し、SDGsの視点で考察する探究的な学習は大変価値があると考えている。

活動中の写真



生分解性プラスチックを作る生徒（中3） 分裂によって無性生殖をするポリブ（中1） 天気予報番組を撮影・制作する生徒（中2）

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 中3「プラスチックが止まらない Vol. 3 ～海洋へのマイクロプラスチック流出防止に向けた私たちの提案～」
2. 中1「海の豊かさを守ろう・陸の豊かさも守ろう～生物の体の共通点と相違点～」
3. 中2「FZKお天気チャンネル～上越と沖縄の天気を予想し、オリジナル天気予報番組を発信しよう～」